施策評価シート

令和　5　年度

総合計画						
分野	4	第４章	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	施策統括課	循環型社会推進課
施策No.	2	施策名	持続可能な循環型社会の構築	課長名（施策統括責任者）	馬場　佳子
関係課	バイオマス産業推進課　環境政策課　循環型社会推進課　環境保全課、施設機能向上推進室				

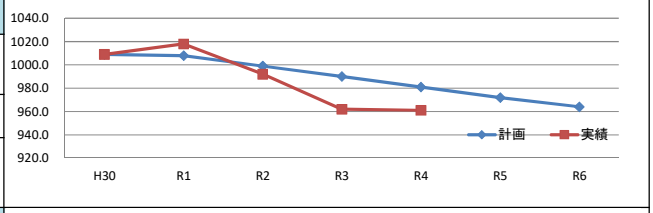
１．施策の目標

めざす姿（成果目標）	市民や事業者は、リデュースや廃棄物の適切な分別等に取り組み、廃棄物の発生を抑制している。
取組方針	市民生活や事業活動に浸透してきた廃棄物のリサイクル（再生利用）の推進とともに、今後は、市民や事業者に対して、情報提供や体験学習等を通じた啓発等により、リデュース（発生抑制）とリユース（再使用）を積極的に推進し、３Rに取り組みやすい仕組みや環境づくりを図ります。また、リサイクルの推進にあたっては、民間活力を積極的に導入し、資源の確保や有効利用に取り組みます。

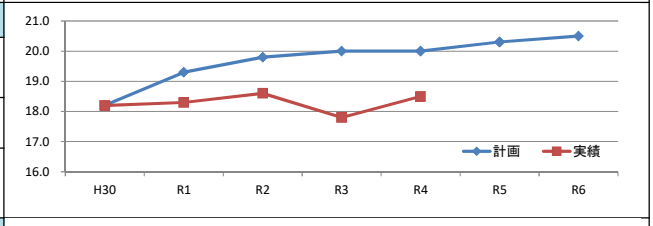
２．施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）＊人や自然資源等	市民や事業者
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	市民や事業者が廃棄物を適切に分別し、リサイクルに取り組み、廃棄物の排出を抑制している。

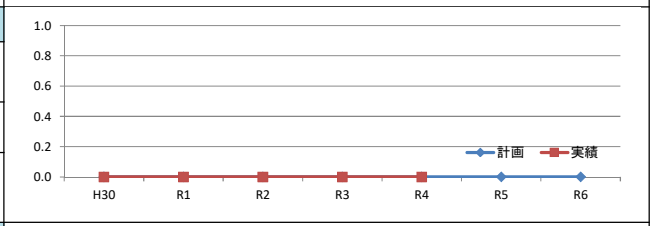
成果指標 A						単位
1人1日当たりごみ排出量						g/人日
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標
1009.0	1008.0 1018.0	999.0 992.0	990.0 962.0	981.0 961.0	972.0 0.0	964.0



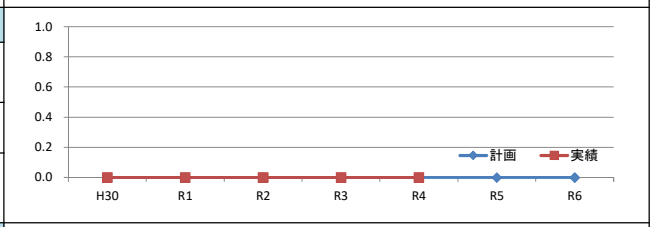
成果指標 B						単位
リサイクル率						%
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標
18.2	19.3 18.3	19.8 18.6	20.0 17.8	20.0 18.5	20.3 0.0	20.5



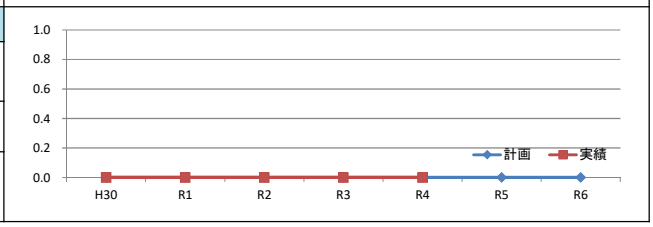
成果指標 C						単位
-						-
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0



成果指標 D						単位
-						-
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0



成果指標 E						単位
-						-
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0



施策評価シート

３．市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	48.7%	46.6%	↓
ある程度重要である	40.4%	41.4%	↑
あまり重要ではない	3.3%	3.5%	↑
重要ではない	0.6%	1.1%	↑
順位	12/36位	12/36位	→

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.8%	6.2%	↑
どちらかといえば満足	50.5%	51.9%	↑
どちらかといえば不満	25.7%	22.5%	↓
不満である	2.9%	2.6%	↓
順位	9/36位	3/36位	↑

４．社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

・ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）の達成に向けた動きの広がりにより、市民や民間事業者の３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）に対する意識が高まっている。
・「食品ロスの削減の推進に関する法律」（R1.5公布）や「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」（R3.6公布）が成立するなど、廃棄物の排出抑制や資源循環に関する法整備が進んでいる。

５．施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

・市内の廃棄物排出量は減少傾向にあるが、リサイクル率は横ばいの現状である。
・市の廃棄物処理施設が老朽化してきているため、適正な維持管理が必要である。

６．施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

・引き続き食品ロスの削減など３Ｒに関する取組を推進することにより、廃棄物の排出量の減少を目指していく。
・リサイクル率の向上のために、新たなリサイクル（プラスチック、民間リサイクルなど）について検討をしていく。
・ごみの適正処理を進めるために、佐賀市最終処分場の残余容量を確保する延命化や、清掃工場の大規模改修に取り組んでいく。